活動名		
人と自然とのふれあい	団体名	大人のかくれ家倶楽部
	地　　域	広島県広島市
	代表者	代表 木戸 敏明
	支援金額	15万円

活動概要

大人のかくれ家倶楽部は、毎月2回例会日を設け「自然とのふれあい」･「里山の整備」･「地域住民との交流」等をテーマに活動を続けているが、今回はその中でも子供たちを主体にした活動を採りあげた。

①「君もカブト虫博士になろう」
　子供たちを集め、カブト虫の幼虫から蛹.成虫になるまの観察できる方法を習い、成虫の飼育小屋を作るなど継続的に年間サイクルを観察出来るようにした。(次年度も幼虫の採取から始めるイベントを開催したい)

②「森のコンサート」と餅つき体験
　交流広場で大人から子供まで集めた「森のコンサート」と「餅つき体験会」を実施した。

③間伐と枝打ち体験会
　口田公民館を通して参加者を募集して、森のインストラクター指導のもと森の中で間伐体験学習を実施した。

◆実施時期

①「君もカブト虫博士になろう」　2011年5月15日(日)
②「森のコンサート」と餅つき体験　2011年10月15日(土)
③「間伐と枝打ち体験会」　2012年2月4日(土)
上記、いずれも「大人のかくれ家」(交流広場)にて開催

◆参加人数

①「カブト虫博士になろう」　子供たち30名　父兄8名　スタッフ12名
②「森のコンサート」子供たち50名　その他230名　スタッフ27名
③「間伐と枝打ち体験会」子供たち２名　その他12名　スタッフ10名　　参加総人員 376名

森のコンサートで、子供たちの発表風景

「森のコンサート」の観客風景

講師から子供たちが講演を聞いている風景

「森のコンサート」のプログラム

◆実施に伴う効果

①「カブト虫」の講座は、近隣の小学校も興味を示している。
②「森のコンサート」は、今回で第4回を迎え地域でも定着化した。特に、公民館サークル活動の発表の場として期待されている。また、今回は幼稚園・保育園の園児たちを森の中の自然に触れさせた催しに父兄からも感謝された。
③最近特に採りあげられている「里山の整備」の一環として、安佐北区役所等、公的機関からも興味を寄せられている。

◆苦労した点

1．いずれも開催場所が山中であるため、機材の搬入等に苦労した。
2．「森のコンサート」に幼稚園児・保育園児を参加させたが、山中の安全面に苦労した。
3．「間伐と枝打ち体験会」については、話題が地味なため参加者募集に苦労した。

◆今後の課題・発展の方向性

市民が、とりわけ将来を担う子供たちが、より多くの自然に触れ・体験し・興味を持ち、自然環境の大切さを知ってもらうよう、色々なイベントを開催し活動を発展させて行きたい。

◆活動を終えての感想・意見等

・☒公益法人　マツダ財団の助成支援を受けたことにより、私たちの活動が一層発展できたことを、大変うれしく思っております。
・☒私たちは、例会日を設けて継続的な活動を推進しております。そのため、今後の活動の中へ財団の趣旨に沿った「青少年健全育成」に関するイベントを多く取り入れたいと思っています。